

自分だけの昆虫図鑑を

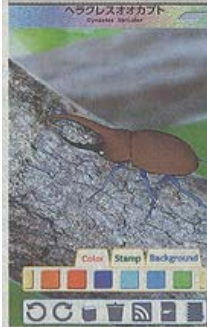
川崎市高津区のコンピュータグラフィックス(CG)ソフト制作会社「ヘラクレスビクチャーズ」が、スマートフォン(多機能携帯電話)の画面上で塗り絵をしながらオリジナルの昆虫図鑑が作れるアプリケーションソフト(アプリ)「アメーシングバグ」を開発した。(平木友見子)



高津のスマホ用アプリ開発

「アメーシングバグ」は、スマートフォン用のアプリで、ヘラクレスオオカブトやリボシカミキリなど約二十四種類の珍しい昆虫に、三十四の色を自由に塗ったり、背景やスタンプを組み合わせたたりして、自分だけの昆虫を作れるのが特徴。原生地や生態などを付け加えて図鑑にすることもできる。

①アプリを開発した富坂社長(右から2人目)ら＝高津区で②塗り絵感覚でオリジナル昆虫図鑑も作れるアプリ



「子どもの知的な好奇心育んで」

「子どもたちの立体感覚や知的な好奇心を育むと同時に、友達や家族と盛り上がるコミュニケーションツールが作れたかった」と富坂仁社長(右)は話す。同社は、立体物を極めて精密に再現する、通常の四倍の解像度を実現。アプリ上でも滑らかに滑らかな昆虫の3D画像を可能にした。今後は昆虫の種類を増やしたり、世界の城など別のアプリを開発するほか、同技術を応用し、「製品開発やマーケティングなどのソフトを作りたい」(富坂社長)という。問い合わせは同社(電話)299-9157まで。